



議会だより

2026(令和8)年 12月議会
3月1日発行

No.107

棚原区のウズリトウイタネ (ウズリトウイタネ=赤ちゃん誕生の報告)

旧暦の12月20日(ミルケ神の誕生日とされる日)に毎年開催される「ウズリトウイタネ」が、今年も2月17日の土曜日に開催されました。棚原区のノロ殿内に家族とともに集まり、ミルケ神にその年に生まれた赤ちゃんの誕生を報告し、健やかな成長や健康を祈りました。この「ウズリトウイタネ」は、地域の人たちが集い、こどもは宝・未来の希望であるという考えのもとで伝承されている地域の重要な伝統行事です。



今回の表紙題字 坂田小学校5年生

3月定例議会

2月27日(金)開会予定

ちなん

知念

ゆあ

優空さん

CONTENTS

一般質問

補正予算議決結果

賛否が分かれた議案

陳情請願等

議案議決結果・議会活動

議会活動・つがやき

P2~P11

P12

P13

P14

P15

P16

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



あ ら た そ う し ん
新田 宗信 議員



■施政方針について聞く

問 モノレール延伸についての取り組みと駅の再開発についての見解を聞く。

町長 昨年度は、西原町まちづくり推進協議会と共催で、小学生や保護者に向けた『ゆいレールファミリーイベント』を開催し、機運醸成に取組んでいる。再開発等の都市基盤整備に

■西原東小学校の老朽化対策と新校舎建設の方向性を聞く！

問 西原東小学校の給食用エレベーターが故障し、児童を中心に給食を運搬している件はどの対応したか。

教育部長

経年劣化の不具合で停止が続き、9月から使用停止した。同月にリニューアル工事契約し、3月末の完了見込みである。11月に専門業者と契約し、万一停止しても業者が待機

と契約し、万一停止しても業者が待機



い じゅ さ と ろ
伊集 悟 議員



については県道浦添西原線の整備状況や国道329号西原バイパスの整備状況や大型MICE施設の動向を見据えて検討していきたい。

問

自治会加入推進について、転入の際に案内を行う考えはないか問う。

総務部長

町民課窓口でチラシを配布するほか、役場ロビー、町立図書館、中央公民館にも同様のチラシを置き、自治会加入への周知に努めている。

問

地域課題の取組みについてインターネットを活用した取り組みを行う考えはないか見解を聞く。

総務部長

地域課題は様々あるが、インターネットを活用した取組みも有用だと考えている。

問

義務教育における護身術（空手）の推進について聞く。

教育部長

現在、本町において、中学校で体育の授業として実施している。



護身術（空手）の推進について

問

町内の井戸に手動ポンプを設置して、日頃は野菜や庭木への散水、災害時にも活かせる環境の確保が必要と思うが見解を問う。

町長

今回の提案で井戸の箇所を特定することで災害時に活用できるということでは、いい質問だと思う。

問

不登校児童生徒に健康診断の機会損失、未受診はないか。

教育部長

健診を受診できなかった場合、後日保護者へ受診を周知しているが、未受診者がいる。

問

学齢期の未受診は、成長期特有の病気を見逃したり、重篤な

問

町内の備蓄状況を聞く。

総務部長

物資類として、食糧、飲料、パーテーション、簡易ベッド、毛布などを備蓄している。

その他の質問

- 町職員の自治会加入率について
- 平園ハイツ集会所用地について
- 農福連携と学校給食の食材の確保について
- 区画整理事業について
- 西原まつりについて
- 空き家対策と独居老人の世帯数と支援対策について
- 里道、道路網及び排水施設の整備について
- 南部広域行政組合の焼却施設の設置について
- 農業委員会会長の議会への出席について



新校舎建設の基本計画が策定された。
老朽化する西原東小学校

し、直ちに復旧できるようにした。

問 新校舎の完成時期はいつか。運動場側に校舎を造る案があるが、工事期間中、運動場が利用できなくなるが、体育や運動会、部活の代替方法はあるか。

教育総務課長 全ての工事完了まで8年から8年半と考えている。運動場については、町民陸上競技場、東崎公園、西原東中学校等の活用が考え



ひが とし かず
比嘉 利和 議員



■西原西地区土地画整理事業の現状と今後の見通し

問 町の将来を担う西原西地区の土地画整理事業だが、進捗の遅れの主な原因を聞く。

建設部長 国・県からの補助金配分がなかったこと、河川の移設や大規模なガス・水道管の切り直しなど複雑

られる。可能な限り負担を減らし、活動場所を確保できるよう対策したい。

■不登校の子の出席扱い制度の周知と健康診断の受診対策を！

問 文科省が認める学校外の学び・オンライン学習等の出席扱い制度をこどもの6割、保護者の3割が知らず、1割しか説明を受けていないといわれる。十分に伝わっているか。

教育総務課主幹 説明はしているが

な工事であるため。

都市整備課主幹 補助金が、過去5年間の要望額（平均約6億5,000万円）に対し交付額が平均約3億8,000万円にとどまっている。

問 物価高騰や資材費上昇に対応するための事業費確保の方策について聞く。

建設部長 事業期間を変更した。都市整備課主幹 完成目標を令和8年から令和15年度に変更している。

■治水対策と生活インフラ整備の推進

問 近年の集中豪雨を受け、小那覇工業専用地域を浸水被害から守るための治水対策について、南西石油の公有水面の管理は県の港湾課がやる

べきで、突堤や導流堤、ポンプ場等対策の責務は県にあると考えるが。

ケースになることもある。しっかりとフォローが必要ではないか。

教育部長 健診はとても大事である。年度内は受診可能なので、電話や家庭訪問で受診を勧めている。

■小那覇・呉屋の通学路の安全対策の早期取組を！

問 9月議会で補正予算を組んだ小那覇・呉屋の通学路の安全対策の執行は。

建設部長 議員の言うとおりであるとも理解している。

■坂田ハイツの下水道整備と道路整備

問 進捗状況について。

町長 下水道整備の設計は平成27・28年度に実施済み。工事の着工は県道整備事業の変更後、調査・修正を行った後、事業実施に向けて国道と調整を行い、当該地域へ順次整備を進める。

■新たな可能性を探る地下資源の活用

町長 11月にグリーンベルト及び区画線設置工事の入札が不調となったが、再入札し、安全対策を図りたい。

その他の質問
○児童生徒の多様性や個性を尊重する「ジエングーレス制服」について
○西原町立学校通学区域等審議会の審議状況について

要望 町内では、将来的に有効な町内の全世帯の約200年分に相当する埋蔵量（約27億m）の「水溶性天然ガス」と、純度99.9%を誇る高品質な「※ヨウ素」という有望な資源が検出されている。今後開発を推進することを希望する。

※ヨウ素は、次世代電池とも言われる「ペロブスカイト太陽電池」の主な主原料



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえ さと こう しん
前里 光信 議員



■高齢者福祉について

問 西原町民の平均寿命について具体的な説明を。

福祉部長 令和5年に厚生労働省が発表した令和2年時点の西原町の平均寿命は男性で82.1歳、女性で88.5歳。

■女性の就業環境を整えて!!

問 女性は、結婚を境に就業環境が厳しくなる。環境整備は、

国県市町村の重要な課題である。就業の継続とキャリア支援の実態は。

建設部長 西原町雇用サポートセンターを運営し、就職相談や求人斡旋等の支援を行っている。



ま え しろ てつ
真栄城 哲 議員



問 町民の自死、いわゆる自殺数はどれ程か。

福祉部長 沖縄県が公表している統計によると、過去5年間に於ける本町の自殺者数は令和4年で6名、令和3年で7名、令和2年3名、令和元年で3名、平成30年で3名となっている。

■農家の支援事業について

問 西原町の農家に町当局が支援している公金の補助額は。また、農家の戸数とその平均年収は。

建設部長 令和7年度当初予算で町から農家等への補助金等の予算額は1,204万4,000円。農家の戸数については2020年農林業センサスに依ると、農家戸数は207戸、そのうち販売農家が59戸、自給的農家は148戸。平均年収については国、県農業関連統計資料の中で、市町村ごと

の年収についてのデータはない。参考までに沖縄県の農家平均年収については沖縄県農林水産統計年報によると令和4年は485万2,000円となっている。

■教育行政について

問 去る11月9日、西原南小学校の第34回運動会に出席した。こども園のこともから6年生まで元気いっ

ぱいにかけてこや玉入れ、ダンス、団体競技、リレー等があり、とても素晴らしい運動会だった。ところで、以前から課題になっている校区の選定で、基本的に考えている点は何か。

教育総務課 西原南小学校の過疎化の解消、坂田小学校の過密化の解消。

となる公園の規模や維持管理状況、改修、長期運営の必要性、周辺の連携計画や財政への影響などの整理を行っている。サウンディング調査の対象はイルカ公園の簡易調査を予定。本調査は委託し、官民連携の可能性、民間事業者からの情報収集、関心の有無などを行う予定である。

※「サウンディング調査」とは
地方公共団体が有する土地や施設の活用方法について民間事業者から広くアイデアや意見を聞くために行う調査。

その他の質問

- 西原町の後期高齢者の健康管理について
- 「西原まつり」をどう分析しているか
- おきなわマラソンの休止について
- 西原さわふじ未来ホールで催された「跳びはねてもいい音楽会」について
- 令和7年度西原町海外移住者子弟研修生の選考方法について



西原南小学校



坂田小学校

小学校の校区の考え方は？

待されており、今後は民間事業者から意見や提案を求め、市場性の調査を行うとともに公園利用者や地域住民の意見を聞きながら進めたい。

その他の質問

- 下水道事業について
- 農業振興計画について

問

前述と並行し、子育てとの両立支援も不可欠だが支援状況は。

福祉部長

こども家庭センターでは、妊娠期から子育て期の各段階での相談、情報提供、見守りを一体的に行い子育て不安軽減や適切な支援を行っている。また、こどもを保育施設等に預ける環境を整え、教育・保育施設の受け入れ枠拡充などの施策は、女性の就職や就業継続への後

押しが重要である。

都市公園をどんな風に活用する？

問

※ サウンディング調査前の情報収集中であるがどの様に進めるのか。また、サウンディング調査はどの様にを行うのか。

建設部長

調査実施に向け、対象

問

特にイルカ公園周辺は、大型MICE施設や後背地の商業エリアの開発、幸地インターチェンジ、国道329号西原バイパスの開通に伴う賑わいも期待され、うまく取り込む計画も重要と考えるが。

建設部長

イルカ公園周辺では、大型MICE施設の整備や観光商業エリア計画が進む中で、幸地インターチェンジや国道329号西原バイパスの開通を契機に、賑わいの創出が期

なっており、今現在物件補償に向けて鑑定中という状況説明もしている。

早期橋梁工事を!!

問

小波津川橋梁工事の8月入札は不調となったが、その後の対応は。

建設部長

10月30日に入札を行い、有限会社燕建設が落札し現在仮契約の状況である。今後は12月議会の同議決を経て、本契約を締結する予定。

問

小波津川橋梁名の募集について

建設部長

小波津川6号車道橋は令和9年度中の完成を目標としており、令和8年度にネーミングライツの導入により橋名募集を行う予定。



おおしろ よしひろ
大城 好弘 議員



早期の物件補償を!!

問

庁舎地内の2件の個人住宅の物件補償について、庁舎建設時に用地を取得してやるべきだったのではないかと要望、提案してきた。居住者の住民感情や景観、駐車場としての利活用で機能を果たしているか疑問があ

問

庁舎地内の2件の物件補償の対応は。

町長

1件については道路事業で今年中に補償の見通し、残りの一件は公共補償などが可能か検討中。

問

平成28年度に導線設計が行われたが、1物件はかららない。十分な交渉が何年も行われていない現状をどう思うか。

総務部長

平成28年度から棚上げ



橋梁名募集を予定している
小波津川6号車道橋 (工事中)



都市公園をどう活用する？

一般質問

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やましろ かつ たか 山城 勝貴 議員



討じていきたい。

■有償ボランティアで介護人材育成を

問 介護人材の不足が深刻化する中で、民間企業の取組みとの連携に基づいて地域の方々の有償ボランティアとして活躍できる環境を考えてはどうか。

福祉課長 企業の取組み内容や県内の導入状況を調査したい。

■柵原町道1号線、更なる防災対策を

問 柵原1号線で一部通行止めになつている箇所がある。通行止めに至つた要因と今後の方針は。

町長 10月20日の大雨時に、給水管の破損が起きたため、水道水が漏れ、

路肩が崩壊したと考えている。年内には対策工事を行い早急に対処したい。

問 柵原1号線防災対策事業について、今後の計画は。

町長 今年度には第2工区として約21メートルの工事を発注している。早期整備を進めたく県へ補正予算の申請中である。承認されると早ければ今年度中に第3工区として残りの約59メートルを発注する予定である。

■森川区、徳佐田区のゴミ不法投棄問題について

問 宇地泊川高架橋の下や側道周辺のごみ、不法投棄についての対策は。

総務部長 対策として、注意喚起の看板設置及び平日は環境安全課による巡回を行っている。

問

宇地泊川の側道から徳佐田橋までの道路沿いに常にごみが捨てられている。定期的な清掃作業、環境整備を行うことは可能か。

土木課長 シルバー人材センターを踏まえて、民間委託等、課内でも検討していきたい。

その他の質問

○地域公共交通について



宇地泊川高架橋下、徳佐田橋までの側道に捨てられたごみ

■議員定数の削減・報酬適正化!! 町民の声が届く多様性のある議会の実現を!

問 西原町特別報酬等審議会によると一現行の19人から16人もしくは15人に。定数削減と報酬改定を同時に行い次期改選後より適用が望ましい」と付帯意見があるが。

町長 審議会の意見を尊重したい。

■火葬場等整備基本調査報告書によると、令和13年完成予定か!?

問 実現にむけて町長の見解を聞く。

問 高校生まで医療費無償化を。中部地区市町村等において、地域格差のないことも医療費の実現を要求する。

町長 今検討中である。

低賃金や非正規雇用の増加、ひとり親世帯の生活環境、高い生活コストや教育格差など、まちづくりの核は、いづれも政策であり、いづれもにやさない町こそ、町民が安心して暮らせる町で

■文教の町実現に向けて! 子育て支援の拡充は喫緊かつ最優先で取組むべき課題!

問 低賃金や非正規雇用の増加、ひとり親世帯の生活環境、高い生活コストや教育格差など、まちづくりの核は、いづれも政策であり、いづれもにやさない町こそ、町民が安心して暮らせる町で



なかまつ つとむ 勤 議員



ある。子どもを中心とした町づくりが求められる。0歳から2歳までの保育料無償化の実現について見解を問う。

【子ども課長】 3歳以上は無償化、0から2歳児非課税は無償化を実施。多子軽減制度で第2子は半額、第3子以降は無料を実施中。町負担分が1億6,000万円の中で、保育料の令和7年度見込み額が9,885万円、その差額6,115万円分が町負担。



やびくみつる 屋比久 満 議員



西原まつりを質す

問 前回のまつりと、今回の予算額を聞く。

【総務部長】 前回は、2,211万5,209円で、今回は、2,656万193円。

問 学童クラブの利用料が高い。現状と課題や利用料の補助と拡大について聞く。

【福祉部長】 今年度は補助対象施設を1か所増やした。課題は1年生の待機児童が多い。次年度は優先順位が高い児童から入所できるよう学童連絡協議会と調整中。利用料は県内でも高い状況、今年度より新規事業として賃借料補助を実施し負担軽減に寄与している。

Park・PFIを質す

問 本町で沖繩初の取組みとして、オリンピック種目であるスケートボードとカフェの併設施設を造ってどうか聞く。

【町長】 良い提案だが、進めるにあたり関係団体と調査研究が必要だと考えている。

問 サウンディング調査を聞く。

【都市整備課長】 簡易調査は、補正予算で計上し、半年を見込んでいる。調査報告を見ながら本格的に事業を進めるのかを判断する。進めるといふ事であれば、次年度以降1年かけて本格的なサウンディング調査、その翌年に公募に向けた基本計画策定になってくる。

【町長】 西原町単独でやるのは厳しい。中城村と西原町共同で広域的なものができないか検討中。

問 報告書に、手掛けたら6年後にできるとある。令和13年完成目途ということがあるか。

【町長】 基本は計画書でうまくいけばその方向、財源問題など大きな課題が直面。

ふるさと納税「ロケふる」を質す

問 5年度と6年度のふるさと納税額を聞く。

【町長】 5年度が2,899万5,954円、6年度が1億2,930万4,000円、令和7年度は11月30日時点で、2億848万9,600円。

問 「ロケふる」は、返礼品の開拓をしながらも地域で作った農産物等が返礼品として購入し、持ち帰れる新しいふるさと納税。沖繩初の「ロケふる」導入について見解を聞く。

【町長】 地域のサービスや体験を、そのまま寄付へと結びつける現地決活型アプリサービスは地域経済環境と活性化など直接的に地域貢献につながると感じている。導入自治体での効果や

西原町議会議員報酬（及び町三役の給与）についての答申～西特審第22号（令和6年2月14日）より～

区分	現行（月額）	答申（月額）	備考
(1) 議長	318,000円	350,000円	南風原町同額。
(2) 副議長	266,000円	290,000円	議員定数について付帯意見参照
(3) 議員	243,000円	263,000円	
(4) 町長	754,000円	790,000円	南風原町同額。
(5) 副町長	610,000円	645,000円	改正時期について付帯意見参照
(6) 教育長	573,000円	604,000円	

※注 決定事項ではありません。

動向を注視したい。

「コロナフクチン」を質す

問 他の市町村より高いという地域の声がある、何故7,000円なのか聞く。

【福祉部長】 令和6年度は、国から1人当たり、8,300円の補助があり、自己負担額は3,000円。補助が廃止となり今年度は7,000円になる。



その他の質問

○ 地域移行スポーツについて

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



おもしろ せい いち
大城 誠一 議員



不登校小中生全国35万人

問 文部科学省は、2024年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上諸問題に関する調査」を公表している。それによると、全国35万人。県内は、7,432人とある。県内の小学校が前年度比7.3%（239人）増の3,523人、中学校が4.8%（180人）増の3,909

人とある。本町の2024年度小中学校の不登校人数と前年度比について聞く。

教育部長 小学校は前年度比25%（12人）増の60人、中学校は前年度比30%（18人）増の78人となっている。

問

県内の1,000人当たりの不登校者数は、小学校が35.4人で全国より12.4人多く、中学校は77.5人で全国より9.6人多いという。本町の状況は。

教育部長 小学校は20.8人、中学校は54.1人です。

問

不登校については全国・県とも増加傾向にある。その傾向は西原町でも同様ですが増加の要因は。

教育総務課主幹 不登校が増えた要因は、いろいろなアンケートを取る中で無気力、不安傾向、生活の乱れが一

問

不登校であっても、在学している子どもたちと同じような学びが確保出来たらと思う。学校以外の学びの場、あるいは居場所について聞く。

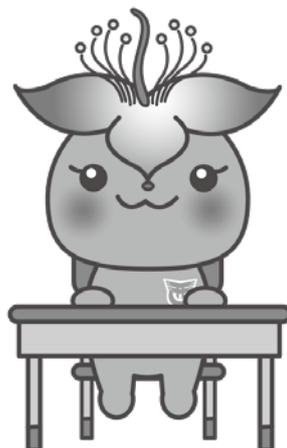
教育総務課主幹 学校以外の場所としては、児童館の方を昨年度から進めている。また、ある学校では図書館

番大きい。これは教育機会確保法とか※COCOLOプランといったものが保護者にも周知されたり、児童生徒にも認識が広まっているものと思われる。

※COCOLOプランとは

以下の3点を柱として、不登校児童生徒が誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現する不登校対策プラン

- 1 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
- 2 心の小さなSOSを見逃さず、チーム学校で支援する
- 3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にす



その他の質問

- ことも誰でも通園制度
- 認可保育園の延長保育事業の廃止
- 街路事業東崎兼久の進捗状況
- 東崎兼久線（海側）への外灯設置

必要な町民へ補聴器購入助成を！

問 加齢性難聴者への補聴器購入助成実績を聞く。

福祉部長 令和5年度は4件、令和6年度も4件、令和7年度は11月30日現在3件となっている。

問

現在申請中の町民はいるのか。



い けい ひろ こ
伊計 裕子 議員



問

町では、現在歯周病検診を20・30・40・50・60・70歳時に自己負担千円で受けられる。聴力検査も町の補助があれば受けられると思うが、どうか。

健康保険課長 歯周病検診は県の補助があるが、聴力検査は補助がなく、単独での実施は難しい。

175人・15.24%）にかけてかなり減っているが、その要因はなにか。

教育総務課長 まず中学生の給食費の無償化に伴い、給食費のみの対象者がいなくなったことがある。あと少子化により児童生徒数が減少していることや、賃金の上昇により世帯収入が増加している可能性があるなど様々なことが考えられる。

福祉課長 申請中の町民はいないが、相談件数としては19件となっている。

問 このうち申請につながる町民もいるのか。

福祉課長 調査中の町民もいると思うが、詳細については把握していない。

問 周知方法は、福祉課窓口、ホームページ、広報誌、地域包括



必要な町民へ補聴器購入の助成を！

支援センターとのことだが、自治会や老人会、民生委員会などへの依頼はどうか。

福祉課長 今後、自治会や民生委員にも周知していきたい。

ほどの事例は最近か、持続的なのか。

土木課長 頻繁にはなく、最近は今和6年5月の大雨時に西小などが冠水した。西小・東・西中裏は今年度は冠水の事例情報はない。

問 今年度も西原小学校の校門付近は冠水した。一時的に水位が増えて、小学校の駐車場付近も小学生の膝まで水位が上がっていた。そこは、早めに改善し、原因を突き詰めてやっていく必要があると思うが。

土木課長 既存の排水能力が低いことが一番の原因。東崎兼久線の道路整備に伴って排水の整備もおこなっていく。

問 事故等が起きかねない状況があるとの声がある。危険性除去を一番に対応してほしい。また、学校や教育委員会等との情報の共有を密に

要望 県への働きかけをしたいと思うので、県の補助が実現した際には、取組んでほしい。

就学援助費支給基準はそのままでもいいのか！

問 就学援助費支給者が令和6年度（小学生514人・22.59%、中学生297人・26.32%）から7年度（小学生422人・19.33%、中学生

行ってほしい。

土木課長 年に一度会議を開いているが、提案のように今以上に情報共有を密にしたい。

町民体育館のトレーニング室整備について

問 町民体育館のトレーニング器具の整備計画はあるか。

教育部長 それぞれが高額で、修繕を行いつつ使用していくことに努めているため整備計画はない。

問 器具等に関しては、本来整備計画等を持つべきでは。

生涯学習課長 計画的に考えていくべきではあるが、施設自体の老朽化でその他の修繕もあり優先度が低い。現状を踏まえ将来的に計画できるか検討したい。

問 賃金は上がっても実際には物価が上がっていることから大変ではないか。基準としては、あくまで金額だけということか。

教育総務課長 世帯収入が上がってきているということになっている。

その他の質問
○ 平和行政について

海外との児童生徒の交流

問 本町の児童生徒が海外等との交流をもっとすべき。留学等では、受けてもらえるのでは。

教育長 海外との交流は大変大切。喜んで迎えて交流を深めていけたら良いと考える。



西原町民体育館のトレーニング器具の整備は？

その他の質問
○ 財政について
○ 公園整備について



ぎま しゅん た ろ う 議員 儀間 駿 太郎

学校周辺の安全について

問 通学路等で大雨による冠水等の被害はあるか。

建設部長 大雨時には西原小学校付近、西原中学校裏手付近、西原東小学校付近の通学路にて冠水等の事例がある。

問 学校周辺は避難所でもあり、そこが冠水すると意味が無い。先

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



き な まさ もり
喜納 昌盛 議員



■次年度の事業計画と予算編成について

問 今現在の予算編成の状況は。

総務部長 11月中旬から下旬に一次ヒアリングを実施してきたところ。
企画財政課長 今、収支乖離が約4億円の収支不足。財調は約9億円あり。

■ハイブリット形式研修会

問 オンライン参加を含むハイブリッド形式での研修実施を今後導入すべきと考えるがどうか。

教育部長 教師向けの研修会や連絡会は、学校現場の実務効率と教員の資質向上に資する有用な機会で、会議の開催方法として、オンライン会議、ハイブリッド会議は移動時間や参加人数の制限の少なさなど、有効な手段



なが はま
長浜 ひろみ 議員



問 町税は、当初より1億円以上の伸び。

問 財政調整基金の取崩しはどう考えているか。

総務部長 今後の状況を踏まえて判断していく。

問 各部の委託業務の件数は。

総務部長 総務部104件、福祉部106件、建設部48件、教育部107件、合計365件。

問 各部の委託業務の選定方法は。

企画財政課長 各部署、課で契約規則に基づき統一的に契約。

問 町の単独事業の精査は。

総務部長 現在精査中で、新年度予算上程の際に明らかになると思われる。

問 町の単独事業の次年度に向けた見直し等は。

企画財政課長 単独事業は、157事業。事業統合を含め、適正な計上、積算かを確認中。

問 中央公民館の建替えを含め、想定される施設の改修・改築の具体的計画は。

総務部長 令和8年度は、西原東小学校改築に向けた関連経費、小中学校消防設備の更新事業、西原南小学校排水設備の更新事業等の予算計上を検討。中央公民館の改修計画等はない。

問 学校給食の完全無償化の方針はどうか検討されているのか。

社会保険労務士による出前授業は、将来の職業について理解を深め、闇バイトなど違法な仕事に巻き込まれないよう予防的な効果が期待され、各学校に紹介していきたい。

副町長 前向きに取組んで実施できるように鋭意努力する。

問 国民健康保険特別会計の累積赤字解消計画の見直しは。

福祉部長 令和6年度決算の累積赤字額は約2億4,200万円。計画から約1,300万円の差額は法定外繰入額で調整し、令和8年度決算で解消を目指す。意気込みは計画どおり行きたい。

その他の質問

- 町長公約に基づいて、次年度の事業計画にどう盛り込むか
- 物価高騰が続く。政府の方針や施策・予算にもよるが、町が行える対策・対処はあるのか

その他の質問

- 人口減少・高齢化社会について
- ユースセンター設置について
- 防犯教育について

問 東京では社会保険労務士会が今年から出前講座に闇バイトを加えたとホームページに掲載された。尼崎市では闇バイト防止に社



だと捉えている。一方、研修の内容次第では対面式での開催がよい場合もあり、それぞれの目的、内容に応じて最適な形式を選択しながら開催していきたい。

問 高校生・若者の闇バイト防止対策

闇バイトに巻き込まれないよう、中学校を卒業し4月から高

校生になるとアルバイトもできるようになり、高校へ進学しない子は働くようになる。中学3年生を対象に労働分野に精通した、社会保険労務士による出前授業を実施すべき。

会保険労務士が中学校へ出前授業を2020年から実施している。高校は基本的にバイト禁止だが、家庭の事情でバイトをしないといけない子達が闇バイトに誘われないよう行っている。本町でもどうか。

教育長 社会全体の問題だと改めて認識した。貴重な提言感謝する。



若者が闇バイトに巻き込まれないために！

出典：沖縄県警察ホームページ



おた みのる 大田 實 議員



問 国道329号バイパスの早急開通について

与那原北交差点の渋滞軽減、当初計画どおり立体型交差点にすべき。可能か町長に問う。

町長 南部国道事務所、所長に対して要望書を手交したところである。与那原北交差点において、交通渋滞が発生

し、周辺町道でも渋滞が発生している事に触れながら、次の3点を要望している。まず1点目が与那原北交差点から我謝交差点区間の329号道路拡張早期整備について。国道329号の我謝周辺、そこを渋滞解消する為に、右折だまり、あと1車線を拡張して欲しいということ。今事業として進めており、この一帯の部分については解消できると見込んでいる。2点目が与那原北交差点の立体化について、3点目が西原バイパスの早期整備促進についてである。

問 土地用途変更について

西原南小学校周辺からマルシェ向けの土地利用変更について問う。

町長 土地利用について本町における人口減少や少子高齢化の対応と

して、移住・定住の促進、さらには事業所誘致による地域活性化を図ることは、重要な課題であると認識している。南小学校からさわふじマルシェにかけての農振区域については、本町都市計画マスタープランやまちづくり指針において、土地利用検討地区として、都市的土地利用を検討する地区に位置付けており、当該地区の取組み時期としては、周辺のインフラ整備の進捗状況や将来人口推計の動向を踏まえ、検討を進めていく。また、検討する中で、地権者、地域住民の合意形成や関係機関の協議により、地区の区域や土地利用の用途が定まるものと考えている。



西原南小学校からさわふじマルシェにかけての農振区域について土地用途変更を検討してはどうか？

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

令和7年度 西原町の 一般会計補正予算 可決!



歳入歳出それぞれ6億8,373万2,000円追加し、令和7年度の歳入歳出予算の総額は

165億7,510万9,000円

となっています。

主な歳入

○町税	1億5,066万5,000円	○地方特例交付金	120万9,000円
○分担金及び負担金	268万9,000円	○国庫支出金	2億558万1,000円
○県支出金	7,727万7,000円	○寄附金	760万円
○諸収入	4,695万8,000円	○町債	1,760万円

主な歳出

○総務費	1億9,365万4,000円	○民生費	3億5,144万2,000円
○衛生費	235万1,000円	○土木費	7,114万8,000円
○教育費	4,771万7,000円	○農林水産業費	279万9,000円
○予備費	1,322万1,000円		

令和7年度 西原町の 特別会計補正予算 可決!



国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ649万9,000円を追加し、**44億9,831万1,000円**とする。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ736万円を追加し、**4億8,104万円**とする。

土地区画整理事業特別会計

歳入歳出それぞれ2,224万1,000円を減額し、**4億1,409万9,000円**とする。

公共下水道事業

収益的収入は54万5,000円を増額し、**4億6,586万9,000円**とする。
収益的支出は54万5,000円を増額し、**4億3,828万円**とする。
資本的収入は80万6,000円を増額し、**8億3,763万5,000円**とする。
資本的支出は80万6,000円を増額し、**9億7,188万5,000円**とする。

水道事業

収益的支出は185万円を増額し、**9億5,527万1,000円**とする。
資本的支出は73万3,000円を増額し、**3億4,684万8,000円**とする。

12月定例会 賛否の分かれた議案

(意見書第4号)

県民・町民の安心・安全な飲み水及び地下水、井戸水の確保に関する対策費の支援等を求める意見書

反対討論の主旨

(喜納昌盛 議員)

P F O S問題に関して、本来は反対・賛成云々ではない。今回のこの提案された経過があまりにも性急すぎる。P F O S問題については陳情があったが、これは宜野湾市関係のもので、これは議運でも配布ということで決まっていた。

もちろん本町においても工業団地関係のP F O S問題がある。

これは我々同僚議員も何度か一般質問しているなかで町の対応、県の対応いろいろやり取りはしているがこの原因究明がまだなされていない。我々議員としてもまだ深く実は研究してない。

我々が精査もしない中でこの決議を出すのではなく互いに勉強も重ねながら、西原町のP F O S問題どうするかということ全員一致でできるような要請文決議文をやってほしかった。そういう要望はしてきた。実は私も調査不足。よって今回は撤回してほしい。あえて出すのであれば、中身が不十分ということでこれを反対せざるを得ない。

(儀間駿太郎 議員)

この問題に関しては私も取り組んでいけないといけない、問題意識は同じ。ただ、内容に関して今現状、西原町、県や国がどのような対策を行っているのかということが内容に盛り込まれていない。そういったことをより具体的にしてどのような支援・費用を求めるか、我々がもっと議論して中身を考えていくべきだと思う。また今議会で提出することがすべてではなく、今後この問題に取り組む中で行政側、議員それぞれと連携して、西原町で起きている課題、沖縄県で起きている課題を共通認識した上で取り組むことが大事だと思う。今、議員間で様々な意見がある以上この内容の意見書を賛成して上げることは、あまりよろしくないのかなというふうに思う。

今回はこの意見書に対しては反対するが、しっかり今後もこの町民、県民の安心安全を求めた上で議会一丸となって素晴らしい形の意見書を国や県に提出できるような取組みをやっていくべきだと思う。

(伊計裕子 議員)

全員協議会の中でこの意見書の内容が事実と違うところもあるのではないかといろいろ意見があった。

やはり私たちが正確な情報・知識をもって、全員一致のうえで、P F O S問題、水の問題に取り組む。町議会としての意見書なので皆が納得できる意見書でなければならない。

県や町もどこまでやっているか、何が課題になのかを自分たちで調査をして皆で意見書を上げていきたいと思う。

賛成討論の主旨

(仲松 勤 議員)

西原町においてもこのP F O S問題、地下水問題、河川の汚濁問題が住民の間で西原一つの課題となったのが令和3年頃。P F O Sの調査を行ったところ、国の暫定基準を超した地点があったということが発覚した。その後、令和6年度の調査報告、令和7年度1月に実施したその結果報告、県の方で問題となっている北谷浄水場の問題も踏まえ、県と町が連携した周知、発生源の特定、継続的なモニタリングが求められているのではないかと。また、将来的な財政負担の懸念もある。県民・町民の安全と安心を守るため、本意見書に賛成する。

(前里光信 議員)

近年、県および県議会においてもPFAS・PFOS問題は沖縄全体に関わる重要課題として位置づけられ、国への意見書提出が進められている。西原町においても、調査結果から飲料水や生活への影響が懸念される状況があり、国・県と連携した対応が不可欠である。本意見書をこの時期に提出することは、極めて適切かつ重要であると考え、賛成する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
意見書第4号	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 欠席は欠

皆さんからの陳情・請願等はこちらになりました
12月定例会で審査した結果を報告します。

	件名	提出者	採択方法及び 附託委員会	結果
要請第977号	平成8年度社会福祉施策及び予算の充実について(陳情)	沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会 会長 湧川 昌秀	配付	
陳情第978号	選択的夫婦別姓制度の導入に反対することを求める陳情	日本の未来を守る会 代表 今野 麻美	配付	
陳情第979号	学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い	一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇	配付	
陳情第980号	「健康管理室」設置、並びに給特法施行に伴う業務量管理措置、並びに健康確保措置計画策定を求める陳情	沖縄県教職員組合 中頭支部 執行委員長 奥間 由紀子	文教厚生 常任委員会	採択
陳情第981号	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	沖縄県教職員組合 中頭支部 執行委員長 奥間 由紀子	配付	
陳情第982号	中国国連代表部による不当発言に対する抗議決議の採択及び関係機関への要請・意見書提出を求める陳情	沖縄の人々を先住民とする国連勧告の撤回を実現させる沖縄地方議員連盟 代表 宜野座村議会議員 仲間 信之	配付	
陳情第983号	「今こそ選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情	沖縄弁護士会 会長 古堅 豊	配付	
陳情第984号	最高裁判所判決に基づく生活保護行政の改善と対応を国に求める陳情書	沖縄県生活と健康を守る会連合会 会長 仲西 常雄	配付	
陳情第985号	有機フッ素化合物(PFAS)による汚染源の特定と根本解決を求める陳情書	有機フッ素化合物(PFAS)汚染から市民の生命を守る連絡会 共同代表 伊波義安 桜井國俊 玉那覇淑子 町田直美	配付	
陳情第986号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	配付	
陳情第987号	地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望	公益社団法人 西原町シルバー人材センター 理事長 米城 智次	本会議即決	
請願5号	大雨等水害対策に関する請願書	糸数 政廣・糸数 勝美 紹介議員 西原町議会議員 新田 宗信	建設産業 常任委員会	継続 審査

(陳情第980号)

「健康管理室」設置、並びに給特法施行に伴う業務量管理措置、並びに健康確保措置計画策定を求める陳情

原案について

※賛成・反対討論はありませんでした。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間 駿太郎	伊集 悟	長濱 ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那 嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比 久満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝	
原案	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 欠席は欠

令和7年度 第7回 定例会 議案議決結果

事件番号	事 件 名	議決結果
報告第14号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定及び和解について）	報告
議案第47号	町道路線の変更について（与那城7号線）	原案可決
議案第48号	工事請負契約締結について（小波津川6号車道橋仮設道路及び護岸工事（R7））	原案可決
議案第49号	西原南小学校排水設備整備基金条例について	原案可決
議案第50号	西原町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例について	原案可決
議案第51号	西原町立認定こども園設置条例について	原案可決
議案第52号	西原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	原案可決
議案第53号	西原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第54号	西原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第55号	西原町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第56号	西原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第57号	西原町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第58号	令和7年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第59号	令和7年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第60号	令和7年度西原町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第61号	令和7年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第62号	令和7年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第63号	令和7年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第64号	工事請負契約締結について（西原町防災行政無線機能強化整備工事）	原案可決
陳情第980号	「健康管理室」設置、並びに給特法施行に伴う業務量管理措置、並びに健康確保措置計画策定を求める陳情（文教厚生常任委員長報告・採決）	採択
陳情第987号	地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望	採択
意見書第4号	県民・町民の安心・安全な飲み水及び地下水、井戸水の確保に関する対策費の支援等を求める意見書	原案否決
	閉会中の継続審査・調査申出書	可決

議会活動

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会（伊集悟委員長）は令和6年11月21日に委員会を開催し文教厚生常西原南小学校の特別支援学級の高在籍率の課題について意見交換を行いました。

意見交換では同年8月に同委員会にて学校を調査した際の共生社会に向けた※インクルーシブ教育の実践の中で、児童の中に支援児へ優しく接する思いやりが育つなどこども達の成長や町教育委員会と現場が連携し、工夫や努力で、懸命な取組をしている現状をお伝えしました。一方で特別支援学級の高在籍率からくる担任の身体的・心理的負担が大きさ、一人ひとりに向き合う時間が取りにくいこと。通常学級児童及び特別支援学級児童の保護者それぞれから不安の声があることやクラス替えがないため固定化された人間関係が続くことへの懸念。少人数学級の基準外であっても2クラス編成にするなどの配慮が必要ではないかなど多岐にわたる課題について県の見解や対応を確認しました。そのうえで今後も現場の先生方や教育委員会との連携体制による更なる支援の充実と働き方改革の推進を要望しました。

※インクルーシブ教育とは

インクルーシブ教育（包括的教育）とは、国籍や性別、人種、宗教、障がいの有無などにかかわらず、すべてのこどもが多様性を認め合いながら、同じ場で学び合えることを目指した教育システムのことです。多様さに対して分離するのではなくの互いの違いを認め合い、共に成長できるような個別のニーズに応じた支援（合理的配慮）を通常教育の場で行うことで、誰一人取り残さない共生社会の実現を目指します



議会活動

第69回町村議会議長全国大会

全国町村議会議長会(中本正廣会長)は令和7年11月12日に東京NHKホールで第69回町村議会議長全国大会を開催しました。西原町議会からは大城純孝議長と翁長正一郎事務局長が参加しました。

特別決議

- 東日本大震災及び令和6年能登半島地震等からの復旧・復興、原子力発電所事故への対応及び防災・減災対策の確立を求める特別決議
- 地方創生を切れ目なく協力を推進するよう求める特別決議
- 町村の安定的な財政運営に必要な地方交付税等の一般財源総額の増額確保・充実等を求める特別決議

国の予算編成及び施策に関する要望

- 「議会への多様な人材参画及び議会の機能強化」など28件

地区の要望

- 「九州地方における交通網の整備促進に関する要望」など9件

その他要望

- 議員のなり手不足対策及び議会への多様な人材の参画に関する重点要望
- 令和8年度豪雪地帯の進行に関する要望

講演会

「苦しみを笑いに変えた野球人生」
元プロ野球監督/野球評論家 達川 光男 氏



第69回町村議会議長全国大会の様子

題字制作者

坂田小学校 5年生

ちねん ゆあ

知念 優空さん

【ひとこと】

初めて題字に挑戦しました。むずかしかったけど上手に書けて良かったです。これからもいろいろな事に挑戦したいです。



表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)や**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(議会だより表紙の題字・写真について)

TEL945-5122 FAX945-5045

mail:gikaii_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

12月議会の傍聴者

延べ人数

13人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局

TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
副委員長 伊計 裕子

私たちの税金は、大軍拡や大企業・富裕層への減税ではなく、私たちの暮らしや福祉に回す政治が行われるような社会を目指して力を尽くします。

させましよう。
私は、大軍拡や大企業・富裕層への減税ではなく、私たちの暮らしや福祉に回す政治が行われるような社会を目指して力を尽くします。

高市早苗首相が国会冒頭解散を行い、戦後最短の日程で強行された総選挙で、自民党が単独で316議席となりました。得票率36%で議席占有率は67%です。こんな選挙制度はおかしいですか。選挙後、高市首相は記者会見で憲法改定に向けた取組みを加速させる考えを表明しました。去る大戦で住民の約半数が犠牲となった西原町、全国で唯一地上戦となった沖縄県です。町民は保守革新を問わず、戦争は絶対にダメだとの思いは、一致しています。沖縄を二度と戦場にさせない、憲法9条を守り、誰一人殺さない殺さない社会、物価高対策を本気で取り組む社会の実現を求めていると思います。憲法を軸にした共同を広げて、戦争する国づくりを何としても、ストップさせましよう。

つぶやき